

棚田応援隊

今日は、棚田を守る人になる

地域で暮らす人たちが守り続けてきた
新潟県十日町市の棚田。

棚田応援隊は、その人たちと一緒に
棚田を守る時間を通じて、
棚田のある暮らしに触れるプログラムです。

「棚田応援隊」事業リーフレット
十日町市つなぐ棚田遺産連絡協議会





01 日本一の棚田のまち、新潟県十日町市

雪解け水が田んぼを潤す春。里山が鮮やかな緑に包まれる夏。黄金色の稲穂が風に揺れる秋。一面の雪が静かに大地を包む冬。十日町市には、四季折々に美しい表情を見せる棚田があります。令和4年には全国最多の14地区が農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されました。その背景には、自然の美しさだけでなく、地域で受け継がれてきた農村の営みや文化があります。

02 棚田を守る人たち

棚田は、自然だけがつくった風景ではありません。地域で暮らす人々が一枚一枚に手をかけ、効率だけでは測れない営みを積み重ねながら守り続けてきた風景です。そこには、棚田地域で助け合いながら暮らす人々の暮らしや知恵、文化も息づいています。



03 棚田を受け継ぐために

一方で、過疎化等のため、棚田を守ることは年々容易ではなくなっています。こうした中、地域外の人との協働や、心身の豊かさを育む場として棚田に価値を与えるなど、地域らしさを大切にしたい、多様な取組みが見られます。これまでの営みを大切にしながら、新たな価値を加えて棚田が受け継がれていく—そのような新しい時代を迎えています。



04 棚田を守る側へ

地域外の人が、棚田地域で暮らす人たちと出会い、一緒に手を動かし、棚田のある暮らしを体感する。このような関わりは、人と地域を結び、棚田を未来へつなぐ大きな力になります。この関わり方を形にした取り組みの一つが「棚田応援隊」です。

棚田を守る人々と出会い、棚田のある暮らしにふれる -

05 棚田応援隊として過ごす時間



地域の人たちと手を動かし、その地域の暮らしにふれ、棚田のある風景がどのように守られているのかを知る。それが「棚田応援隊」として過ごす時間です。このプログラムだからこそ出会える人とのつながりや、棚田を守る立場だから感じられる景色があります。